



鉄道高架化通信



第49号
新春特大号

令和7年1月発行
発行：豊田市建設部街路課

～若林駅のデザインコンセプトが決まりました～

※裏面もご覧ください

若林駅のデザインコンセプトについて

若林地区の「地域の特性」をコンセプトに若林駅をデザインします。
地域の思いが表現された駅になります。

山並み・田園風景・草木

駅周辺に広がる
四季を感じさせる豊かな緑

逢妻男川

三河線に並行して流れ
まちの礎を築く

つながり・拠点

高架化による東西分断の解消

<外観デザイン>

○緩やかな曲線

山々の稜線や逢妻男川の流れをイメージ

○アースカラーをベース

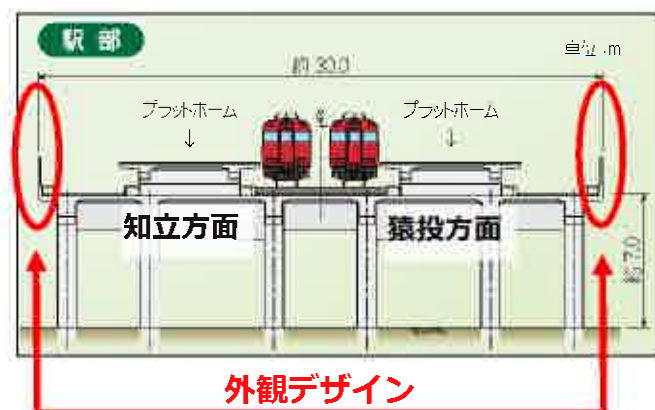
稜線の緑、逢妻男川の青等

○ガラススクリーン

ホームに立つ人が四季の風景を感じる

○マリオンルーバー

高架化による地域の発展と創造



<豊田市作成の外観デザインのイメージ>



左の図は、豊田市が作成したイメージであり、実際とは異なります。名鉄の方のお話では、駅の東西で色彩等を変える予定とのこと。どのようなデザインになるのか楽しみです。

ちょっと途中下車

～地域の皆様に親しまれる駅に～

若林駅のデザインコンセプトについて、皆さんはどのように感じられましたか。令和5年度に地域の代表の方が主体となって意見を集め、若林自治区から「若林のイメージ」についてご提案いただきました。地域の小中学生や若林駅を利用する豊田南高校の皆さんなど子供たちの意見も踏まえご提案くださったと聞いています。

名鉄が、いただいた提案書を参考に検討し、デザインコンセプトが決まりました。あと1年ほどで駅が姿を現すと思うと期待が大きく膨らみます。

ところで、このデザインコンセプト、見覚えのあるフレーズはありませんか。過去の「ちょっと途中下車」で少しずつ若林のイメージをご紹介させていただきました。「第43号 車窓から山並みを望みながら若林駅に到着です」、「第45号 地域の礎を築いた生命の源「逢妻男川」」、「第47号 豊かな自然と拠点としての発展」。皆様の「若林のイメージ」と同じでしたか。若林駅が完成したら、デザインの意味を考えながら駅を眺めてみてください。

「ちょっと途中下車」には、高架切替に向けてキーワードを散りばめています。街路課ホームページに掲載していますので、ぜひ一度読み返してみたいでしょうか。そういえば、前回の「ちょっと途中下車」では高架化探検隊が内装に特徴のある竹ノ塚駅をご紹介しましたね。

<地域からの提案書（一部抜粋）>

若林駅のコンセプト

～誰もが若林を実感できる駅～

～開放的でぬくもりがあり、地域の魅力を発信～

人の魅力・地域の豊かさを表現

住民の笑顔と伝統的なまちの活気
夕日に映える稲穂

人の優しさ、温かさともちの華やかさを表現

人々の出会いと別れを見守る桜並木
地域を守る桜の宮・緑結びの木

自然との調和を表現

遠くに見える山並み
暖かい日差しを浴びて輝く緑の田んぼ

地域の起源・礎を表現

まちの中心を流れる生命の源逢妻男川
地域繁栄に欠かせない春の風物詩田植え

地域住民が考える若林のイメージ、若林への思いを若林駅のコンセプトとして色と言葉で表現しました。
若林駅が地域に親しまれ、まちのランドマークとなるように、地域の特色を駅舎で表現してください。

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替



⑥ 高架本体工事開始



⑦ 高架本体への切替



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp

～高架構造物の構築が最盛期を迎えており、着実に事業が進捗しています～



自治区事務所

若林西町六反ケ坪

若林3号踏切

若林交流館

若林駅

若林駅役場線

若林東町上り戸

若林1号踏切